

①死を宣告された右肺のガンが半年できれいに消えた
熊本県 E・Oさん(男性・五八歳)

肺ガンが転移

五年前のことでしたが、人間ドックに入って健康診断をしたところ、右側の肺の下部にガンがあることがわかり、すぐに手術を受け右肺を摘出しました。

そのとき先生からは、

「五年間様子を見て、もし何もないようでしたら大丈夫ですよ」と言われました。

その五年があと一週間で過ぎようとする九七年二月、念のため再び人間ドックで検査を受けました。

ところがレントゲンで、今度は左側の肺に怪しい影が見つかったと言われたのです。早速、以前手術を受けた病院に行き精密検査をしたところ、ガンが転移していることが確認されました。

以前の時も私はガンの告知をしていただきましたし、大丈夫だから全て話して欲しいと

先生にお願いして状況の説明をしてもらいました。それによると、左側の肺に親指大のガンがタテに四つ並んでいるとのことでした。

「すでに右肺は摘出していますので、この状態では再手術でガンを取り除くことはできません。一年―二年の命であることを覚悟してください」

先生はそうおっしゃいました。

死を宣告されたに等しい状況に、さすがに四日間ほどは精神的に落ち込んでしまいました。ところがそれを過ぎると、気持ちがち落ちてきました。というのは、私は一〇年ほど前からキリスト教のモルモン教徒になっておりました。

このモルモン教の教義では、永遠の生命という考え方があり、死というのはこの永遠の生命を得るための一通過点である。決して恐れるものではないと考えます。信仰のおかげで、私には死が絶対ではないという考え方に立つことができましたのです。

そうはいっても、ある程度の覚悟をしましたし、あとは神様に任せる他ないという気持ちになっていました。

さて、手術という方法はとれませんでしたので、抗ガン剤と放射線を主体の治療を行うことになり、三月に入院して抗ガン剤治療を六回受けたのち退院、その後は四月から放射線治療を二か月間、計三〇回やりました。

ここで西洋医学的な治療は終了し、これ以上はやりようがない、やるべきことはすべて

やったと病院の先生に言われ、その後は自宅療養となりました。

何じやういふ世やうにならん

私は高校の教師でしたが、二年間の休職期間をいただき自宅で療養することにしました。西洋医学的療法はこれ以上することはないということでしたので、何もすることがなく、これではただ病気の進行を眺めているということになってしまいました。

そこで、何でもいから、良いといわれるものは何でも取り入れてやってみようと考えました。周囲の方々も心配して、いろいろよかれと思うことを教えてくれますので、それらを拒まず試みて、悔いのないようにしたいと思ったのです。

結果的に四つのことを始め、現在も続けています。

まず一番目に、九七年の五月か六月頃、ちょうど放射線治療が終わった頃に、子宮ガンのお姉さんが治ったという体験を持つ知人から、ビワの葉を煎じて飲むことをすすめられました。

一種の民間療法だと思いますが、毎日土瓶に一杯、ビワの葉を煎じたものをずっと飲み続けています。

二番目はやはり同じ頃、アロエのジュースをすすめられました。これはガンにいいというよりも、免疫力を高めるといいうことでしたが、二ℓビンのジュースを買い、

毎日五〇cc飲み続けています。

そして三番目ですが、九七年の夏の頃、アメリカに行っていた娘が帰ってきて、熊本市の国際交流会館というところに行きました。そこでたまたまペルーの催しがあって、タニグチさんというペルー人の女性と知り合い、娘が私のことを話したところ、ペルーには非常にいいハーブがあるとキャッツクロウを紹介されたのです。

その時はキャッツクロウというものを知りませんでしたし、日本で製品があることも分からなかったもので、タニグチさんを通して購入しました。

取り寄せてみると、末期ガンの人が飲んだら治ったということが説明書に書いてありましたので、朝、昼、晩と二錠ずつ計六錠毎日飲むようにしました。以後半年あまり、なくなれば自分で購入し続けています。

最後に九七年の暮れに知り合いからすすめられて、中国の片仔廣という薬を買い飲んでいました。これは大変高価な薬で一〇球で四万円もするもので、一球は飴玉大の大きさで、これを割って粉状にして一週間ほどかけて飲むようになっていました。

以上が私の始めた四つのことです。最初の二つは五、六月頃から、キャッツクロウは夏から、中国の薬は暮れから始めて現在も続けています。

放射線治療が終わった時点でレントゲンに写ったでガンの状態を見たときには、それまで親指大であったものが、人差し指か小指大に一回り小さくはなっていました。しかし、

治療はそれまでで、それから先の西洋医学的治療の方法はなかったわけです。ただし、毎月レントゲンで進行状況はチェックするということになっていました。

九月に撮影した写真を見ますと、少しガンが大きくなったように見えました。病院の先生は、これは放射線治療によって肺臓炎を起こしていることから、その影が出ているのだということでした。それが証拠に一〇月、十一月の写真では肺臓炎の影がとれてきたことと、ガンが繊維化してきたということでした。これはガン細胞が繊維質に包まれる状態で固定化していることであり、悪化はしていない、まあまあ順調であるという結果でした。

ガンが消えた！

九八年の一月、レントゲンでは細かなことがよく分からないということことでCTを撮ろうということになったのです。造影剤を点滴しながら三〇分ほどかけて撮影をしました。このCTを見て、

「実はガンがどこにあるか分からないよ」と先生がいうのです。

それまでガンが小指大にあったのに、そこには腫瘤陰影的なものは写っておらず、線のようになっているということです。つまり、ガンが消えてしまったということになるらしく、結局状態がとても良くなっているのです、仕事も復帰したらどうかということになりました。

二月になって別の病院で検査を受けましたが同じような見方で、ガンが消えてしまったということになりました。

この結果、九八年の四月には休職していた学校に復職することになりました。昨年には休職とはいいながら、復職の可能性がないに等しいと思ったのですが、予想外に嬉しい結果となりました。

一体何がガンを消したのか、いま、効果の要因を一つのものに断定することは私にはできません。ピワ茶もアロエも、そしてキャッツクロウと中国薬の四つはほぼ並行的に試みたものですから、そのうちこれ一つというように効果を断定することができない状態ですが、しかし、いずれにしろこのうちどれかが、あるいはこの四つが相乗的に効果を出したことは違いがありません。

私の体の免疫力あるいは治癒力が向上し、ガン細胞の増殖に打ち勝つことができたから、この結果になったのだと思うのです。いろいろな好条件が重なって免疫力が増強したのでしよう。どれ一つとは言えないというのが正直なところです。周囲には、やはりガンで苦しむ人がいますので、私の体験を話し、この四つを試みることをすすめています。

もう一つ、宗教上のことですが恐怖、不安を全く感じることなく、むしろ休職して夫婦揃って生活する充実感を味わうことができたのも、良い方向に向かわせた要因になるかも知れません。

②自殺まで考えた全身のリウマチ地獄から救われた。今では野球もゴルフもできる 佐賀県 M・Gさん（男性・三七歳）

突然リウマチに襲われる

今から三年前（九五五年）のこと、突然左肩に痛みがきましたので、近くの整形外科に行きまして痛み止めの注射を打ってもらったところ、二日ほどで治りました。

ところがしばらくして右肩が痛み出し、膝も直角に曲げないと痛くてたまらないようになり、指にも痛みがきました。しかし、これも注射で治まったのです。少し間をおいて、今度は両肩が同時に痛くなりました。

通っていた整形外科で一か月ほど治療を受けていましたが思わしくなく、大きな総合病院で精密検査してもらいましたが、その時は原因がはっきりと分かりませんでした。ともかく入院して検査を続けたところ、一週間ほどして血液検査にリウマチ反応が出て、全身にリウマチの症状が出てきたのです。

この頃には、歩くこともできなくなり、手足も自由に動かすことができなくなっていました。当時私は体重が八〇kgもある大男なのに母親は小さく、検査で病院に行くとき等は

親に連れていってもらうにも親が私を支えきれず、どうにもならない情けない状態だったのです。

入院していたときは六人部屋で、そのうち四人はリウマチの重傷の患者さんで、そうした人たちを毎日見ていると、自分の将来を見る思いがして毎夜涙が流れて仕方がありませんでした。

総合病院には三か月半ほど入院をして、リウマチの治療を受けました。最後のほうには、それでも何かにつかまり、伝い歩きをすればどうにか自分で歩けるというところまでにはなっていました。それでも一人で生活することはとても無理な状態です。

しかし、病院からは、

「こういう病気は完治するということは望めません。後は自宅療養をしてください」と言われて、退院をしたのです。

退院をしたものの体は動かず、独身だった私は、

「今は親が健在だから頼りになるが、二〇年、三〇年経たら一人でどうやって暮らせばいいのだろう……」

といった思いが頭を離れず、目先が真っ暗になりました。

それまで勤めていた会社は、私の症状が治る見込みがないことを理由にクビになってしまいました。しばらくは保険と少しの蓄えでしのぐことはできますが、その先には希望が

全くありません。こうした経済的な不安も頭を離れず、死んでしまったほうが楽だと考えたことも何度かあります。

偶然キャットクロウを知る

家に帰ってから、症状が進むということはありませんでしたが、朝の強張りひどく、七時に起床して、体が楽になるのは一〇時から十一時になってやっとという有様です。顔を洗うにも、水を両手ですくって、これを顔に持って行くことができませんし、逆に顔を両手のところまで寄せることもできません。強張りが楽になった状態では靴下を自分ではく程度のことはできますが、ワイシャツを着てボタンをかけるようなことはとてもできませんでした。

手首、足首は腫れていましたし、指の関節は全て水がパンパンに詰まったような感覚で、針の先を刺すと中の水がピューッと飛び出すのではないかと思われるようです。指を握ることも非常に時間をかけないとできませんし、開くときはもう一方の手で指を一本ずつ伸ばしていくようにしなければなりません。

食事はハシを使うことはできずフォークを指に挟み、口をフォークの位置まで近付けるようにして食べます。まるで料理に体を覆い被さるようして食べていました。魚等は身をほぐしてもらわなければ、食べることができません。

豊の家ですから、立ち居がとても辛くて、立った姿勢から座ることができません。あるいは逆に座った状態から立つことも、もちろんできませんでした。テーブルと椅子ですとなんとか座ったり、立ったりということができます。

従って横になって寝ているか、テレビを寝ながら見て過ごす生活を半年ほど続けました。半年後、人からもすすめられてスイミングスクールに通い始めました。プールの水は温水で、水中につかると非常に快適で、手足もよく伸び運動が可能になります。これは風呂にも共通したことでした。ところが温水から上がって一〇分～二〇分もすると元のようになってしまいます。良い状態が固定することにはなりませんでした。

この他リウマチにいいといわれるものは全てやってみました。健康食品もありとあらゆるものを試み、お金もずいぶん使いましたが、結果はすべて上手くいきませんでした。そんな状態が一年以上も続きましたが、昨年（九七年）二月のある日、検査で通院している病院の売店で売っている健康雑誌に、リウマチに効果のある健康食品の記事が載っているのを見つけました。

家を買って帰り、横になって雑誌を開いて、閉じないように上に枕を乗せながら読んだのがキャットクロウの記事だったのです。

「また、こんなことで騙されるのかな」

もうすでにあまり期待をかけない習性が身に付いていたのですが、それでも手を出してし

まういつもの癖で、このキャッツクロウを取り寄せてみました。

今では野球も「ムン」まである

期待もせず、何となく飲み続けて二週間過ぎた頃、体が軽くなったように感じました。「何か、今までのものとは違う!」

一か月して、強張りが薄皮を剥ぐように取れてきたのです。手の指のグーもできるようになり、パーもゆっくり一人で開けられるようになりました。

「もう、このキャッツクロウしかない!」

この時期は病院のいつももらっている薬以外に健康食品は飲んでいませんでしたから、キャッツクロウの効果ははつきりと確認できました。これを飲んでいれば何とかなるという気持ちになったのです。

やがて、朝、あれ程きつかった強張りが軽減し、自分で歩けるようにもなり、三か月めの昨年五月頃からは、めきめきと良くなっていました。六月の梅雨の時期も難なく乗り切り、八月頃にはほとんどリウマチの症状が解消しています。

キャッツクロウを飲み始めて約半年で、あれほど私を苦しめた痛みは全くなくなってしまったのです。

九月の末には就職もし、営業ではありますが、重量物の積み込み等もやっています。現

在は野球もゴルフもなんでも普通にできます。ほかの人と少しも変わったところがありません。

病院の先生もびっくりしていますが、二か月に一回の血液検査ではまだリウマトイド因子が出ていますので、一応リウマチ患者にはなっています。先生がおっしゃるには、

「あなたの場合、症状が出て半年後には体が動かなくなるような悪性のリウマチだった。それが完治するなんて、とても珍しいケースだ」

血液の数値はまだ出ていますが、ただ平均値以下ということで日常的には何ら問題はありません。

昨年の十一月には、七年間付き合った女性と結婚もでき、本当にキャッツクロウには感謝しています。妻は看護婦をやっており、彼女の病院にもリウマチの患者さんが見えるそうです。電気治療や温熱療法をするそうですが、実際には気休め程度にしかなくていいそうです。

「何でやろか?」

彼女もキャッツクロウの効果には不思議な思いをしているようです。

③手首の関節が腫れ上がり大変な痛みをともなう義姉のリウマチが二〜三か月で治る 群馬県 Y・Kさん（女性・四八歳）

姉にキャッツクロウを贈る

私の体験というよりも高知に住む、夫の姉の経験なのです。義姉の婚家は高知で酒屋を営んでいます。義姉は少し以前から子宮筋腫を患っていて、筋腫を小さくするような注射をずっと打ってもらっていましたが、はかばかしくないということから、一昨年に手術をいたしました。

その後、酒屋でしたからビールケース等を動かすときに、どうも手首に違和感を感じ、おかしいといっていました。じきに痛みが激しくなり、どうやっても手が上がらないようになってしまいました。

全く突然の発症で、お医者さんからもらった薬を使いましたが痛くなるばかりです。やがて手首の関節が膨れ上がり、曲がるようになってしまいました。この頃というのは大変な痛みをともなうらしく、私たちの方にもそんな連絡が何回ありました。

先生には、

「遺伝性のものが原因しているのではないか」

と言われたというので、家系を調べてみましたが、代々そうした病気にかかった者はおらず、親戚にもリウマチ患者はおりません。

そんな心配をしていた昨年（九七年）、Sという健康雑誌でキャッツクロウのことを知りました。すぐに直接販売会社のほうに連絡をしてキャッツクロウを取り寄せると、高知の義姉のほうに送り、なんでもいいからとにかく飲んでくださいと言ってやりました。

義姉のほうは言われるままに、わけもわからず飲み続けていたようです。私たちの方も免疫力増強になるらしいというくらいの知識で、例の手術のこともありましたので、ダメもとといった気持ちでずっと送り続けました。

ところが、飲み始めて二〜三か月すると義姉が、「リウマチの腫れがずっと軽くなってきて、すっかり痛みがとれた」といいます。

それまで痛くて痛くて、痛み止めを飲まなくてはられない大変な状態でしたのに、「もう痛み止めは飲まなくてもいいわ」

それくらい回復してしまったのです。本当に不思議なことでした。たまたま昨年の九月、こちらに不幸があり義姉も高知から出てきてリウマチの手首を見ることができましたが、手首は曲がってしまい元のように真っ直ぐにはなりません。しか

し幸いなことに、その先の手の指のほうは腫れもなく、真っ直ぐで普通に動きます。リウマチというのは、手ばかりではなく足にも症状が広がると言うことを聞いていますし、現に足をやられて動くことがでなくなった知人もいます。

義姉の場合は幸いなことに足はやられずに済みました。手首の麻痺が始まった頃キャッツクロウを飲み始めましたので、足への進行を止めることができたのかもしれない。もちろん現在は痛み等まったくなく、手首の関節の曲がりを除けば以前の健康な時と変わりありません。ちなみに病院で検査を受けましたが、リウマトイド因子等の数値もなくなったという結果が出ているそうです。つまりリウマチは完治したということになるのでしょうか。いずれにしろ、リウマチというのは大変怖い病気であり、完治することがなかなか難しいものですが、これが短期間で治ったのはうれしいことです。

我が家の健康食品

こうした義姉の経験もあって、我が家でもキャッツクロウを飲むようにしています。家族は健康でしたので、とくにどこが変わったということはありません。しかし、主人が言うには風邪等はひかなくなって、調子がいいということです。主人は一日四〜五錠を飲んでいました。

体に害がなく、免疫機能の促進になるということですから、健康維持のために飲み続け

ていこうと思っています。

④寝たきり主人の脳梗塞・痴ほう症に効果。今では正確な会話もできるようになった
大阪府 M・Kさん（女性・七十二歳）

圧迫骨折を家で治す

昨年（九七年）の八月のことでしたが、キャッツクロウの製品が出たということを知り、どんなものかと取り寄せてみましたが、飲んですぐに体に感じるものがありました。というのは体が軽く感じたのです。

実は私には脳梗塞と痴ほう症になった主人（七六歳）がおりましたので、朝二錠、夜二錠飲ませたところ、薄紙をはぐように頭がハッキリしてきました。

飲み始めて一か月くらいして、老人の集いという集まりがありました。主人はこれに出るといっているので着替えをしておりますと、急にフワッと横になるように倒れて、圧迫骨折をしてしまいました。病院に入院しようとしたが、薬を山ほどいただいて入院は結局断られるような形になってしまい、家で治療をすることになってしまいました。

姉の娘が県立病院の婦長をしておりますが、いただいた薬があまり多いので、

「オバさん、そんなに薬を飲ましたらオジさんの気がおかしくなってしまう。薬は止めなさい」

という始末です。そこで飲ますのはキャットクロウばかり、私が一生懸命介抱して二〇日ほど経ちました。

出張で家を空けていた息子が帰ってきて、

「母さん、このままではダメだ。別な病院に連れていこう」

というので、昔、付添婦の仕事をすることがある整形外科に連れていきまして、レントゲンを撮ってもらいました。すると先生は、

「骨折は治っているよ」

とおっしゃいます。

「先生、炎症は？」

「炎症なんてどこにもないよ。寝たきりの病人をよくここまで治したね」

どんな介抱をしたのかと聞くので、キャットクロウを飲ませたことを話しますと、

「キャットクロウのことは聞いたことがある。それなら病院の薬はいりませんよ」

「でも本人はまだ痛がりますから、家にある貼り薬でもいいですか」

「ああ、それで結構」

そんなことで、結局、主人の圧迫骨折はキャットクロウを飲ませただけで二〇日間で治

してしまったことになりました。

主人は頭のほうも、しっかりとし会話もできるようになり、最近の長野オリンピックの競技を見ては、感激、感激の連続で痾ほう症もずいぶん回復しています。キャットクロウを飲み始めてからずいぶん筋肉の力もついて、開けにくいビンの蓋も簡単に開けて、訪ねて来た知人や友人をびつくりさせることもあります。

ガンの後遺症にもいい

私は七三年に胃ガンを患い、さらに二年後、直腸、卵巣、子宮への転移がありました。いずれも手術をせずに、あるワクチンで治した経験があります。

ところが三年前の阪神淡路大震災の時に、今度は喉頭ガンが見つかり、これもワクチンで石灰化しました。ワクチンを補助する形でいくつかの健康補助食品を試しましたが、たまたま取り寄せたキャットクロウを飲み、石灰化したガンがさらに小さくなりました。

また、腰から足にいたる筋肉が衰えていて、家人から、

「お尻の筋肉が全然ない」

といって驚かれていたのですが、キャットクロウを飲むようになってこの衰えた筋肉がすっかりついて、力がついてきたように思います。

こうした経験から、親戚中にキャットクロウをすすめています。田舎にいる姉はリウマ

チで、手はしびれ、足はうずいて、うずいて仕方のない程でした。歩くにもカニのような有様です。しかし、キャッツクロウを飲むようになってから痛みがすっかり取れ、今ではジョギングをするまでに回復しています。

⑤腎臓病の薬の副作用・体のむくみと動けなくなるほどの偏頭痛がとれた 静岡県 W・Mさん（女性・五九歳）

片方の腎臓が機能停止

今から一〇年ほど前、尿路結石になりまして苦しんだことがありましたが、その時に検査の過程で左側の腎臓が働いていないということが分かりました。

先生からは、

「左の腎臓が完全に機能停止しているかどうかは分からないが、いずれにしても働いてはいません。右は正常ですが、これがおかしくなったら人工透析をしなくてはなりません。大事にしてください」

と言われ、完全に停止しているということでもありませんので、手術はせずに投薬をするということになったのです。

どうして左の腎臓がそうなったかは、はっきりわかりませんが、ただ若い時に腎炎を患ったことがあり、それが原因になったのかもしれない。自覚症状が全くなかったので、先生に指摘されるまで分かりませんでした。

一〇年ほど前から腎臓病の薬をもらい服用するようになって、当時の薬はまだよくなかったのか、薬の副作用があつてひどいむくみが全身に出るようになりました。あまりむくみがひどいので、薬は飲みたくない、なんとか他のよい方法があればいいなと思っております。

しばらくして、薬を飲むのを止めました。薬を止めてから、ひどいむくみはなくなりましたが、目の上や手足のむくみはずっと続き、夜トイレの回数がとて多かったです。

それとむくみのせいでしよつか、しょっちゅう偏頭痛に悩まされてきました。朝起きてむくみがある時は必ず偏頭痛が出ます。偏頭痛はともつらく、私の場合は左右のこめかみから上のほうの額周辺にくるのですが、動く度にズキン、ズキンとなり動けなくなってしまうほどです。

むくみと偏頭痛がとれる

そういうこともあって、近くの健康相談室に通っていました。本当は月に一度は来なさいと先生に言われていながら、最近はついつい忙しさにまぎれてずっと行っておりません

でしたので、昨年の十一月に久し振りに顔を出しました。

先生は私の腎臓が悪いことも知っており、「Wさん、こういう健康食品があるので試してみたらどうか」とすすめてくださったのがキャッツクロウでした。

早速、朝、昼、晩と二錠ずつ、計六錠を毎日飲むようにしてみました。しばらく飲みましたが、今年になってから目の上のむくみがすっととれるようになり、夜のトイレの回数が確実に減ってきました。

「あつ、他のものと違う」

という感じがしました。むくみが取れるようになって、体に疲れを感じるものが少なくなり、何よりも偏頭痛が起きなくなったのです。

もうずっと薬は止めていますし、他の健康食品も併用していませんので、考えられるのはキャッツクロウしかありません。まだ飲み始めて月日が浅く、断定することは控えたのですが、今まで私を苦しめてきたむくみや偏頭痛、夜のトイレ等すべてが目に見えて改善されていることは間違いないことです。現在は、効果がどうのこうのというよりも、今まで辛い思いをしたことが全て取れるから続けてみようという気持ちでおります。

なぜキャッツクロウの効果が現れたのか私には分かりませんが、血流が良くなるためにこうした効果が現れるのではないかと思います。

このキャッツクロウを続けて、機能を停止している左の腎臓が働くようになってくれれば、こんなにうれしいことはありません。

主人はヘルニアが若干あって、腰痛に悩まされてきましたので、最近是一緒に飲むようにしています。こちらはこれからどんな効果が出てくるか楽しみです。

⑥木が腐ったような顔色をした心臓病の人が治った。死にたくなるようになりウマチの痛みから解放された 大分県 I・Kさん（女性・七三歳）

ステロイド療法で狭心症になる

今から二十三年ほど前の一九七五年の頃、私は小学校の教師をしておりました。当時は小学校の先生が家庭教師をしてもいいような時代で、私もある外科の先生の子どもの勉強を見てやっていました。

そんなある日、家庭教師をして帰ろうとすると父親の外科の先生が私のことを見て、「おい、I先生。あんた首が回らんのじゃないか？」

というのです。確かに当時は膝や肩が痛くて、首も凝ったようになって回らない状態だったのです。

「ええ、首は左右よう回らんようになって、左の肩が痛くて上に上がらんだわ」と言いましたら、

「そうか、それじゃこっちにおいで、注射をしてやろう」と言って注射を打ってくれました。この注射は本当によく効いたんです。注射を打っている途中から肩や首の痛みがすつと取れるように良くなりました。

ほぼ一年くらい、この外科の先生のところで治療をいたしました。ところがある時に狭心症で倒れてしまいました。おかしいと思っていた私は、先生に、

「私にやっているのは、ステロイド療法じゃないでしょうね」
そう聞きますと、

「バカをいうな、俺がそんなにヤブ医者に見えるか」

と喧嘩の一步手前のような状態になってしまいましたので、仕方なく婦長さんにそれとなく聞いてみました。

「婦長さん。私にくれているこの薬は副腎皮質ホルモンと違う？」

「そうよ。I先生それ一年も飲んだの？」

「ええ、飲んだわ」

「そりゃ、狭心症になるわよ。野球の選手で、ほら夜に狭心症で死んだ選手がいたでしょ。あれ副腎皮質ホルモンのせいだそうよ」

それを聞いて、もう死んでも飲むものと薬を飲むのを止めました。すると四日目に全身の関節全部がおかしくなってしまうたのです。そこで仕方なく、今度は九州大学で試験的な病氣治療をしている研究所というのがあって、そこに行きました。そこには有名なりウマチ専門の先生が院長をしていて、半年くらい通いました。しかし、

「あんだ、本当のリウマチではないよ。もうすぐ治るよ」
と言われて、そこに通うのを止めました。

しかし、関節の痛むのは治らず、次に岡山のある病院で世界的に知られたリウマチの先生がいるということで、そこに行ってみました。すると、

「ああ、あなたのは内臓からきたものですね」

そう言われ、ある先生を紹介してくれました。その先生は私を診察をすると、

「これは、私のところはずっと通わないと本物のリウマチになって動けなくなるぞ」
と言うのです。そこで、やはりリウマチだったんだなと思いました。

「リウマチというのは進行はしても、完治というのは難しいことだ。これは薬に頼っていないら、また副作用で死ぬ思いをするようになるだろうから、薬は止めよう。健康食品や！」

そう考えて、ありとあらゆるいいと思う健康食品を取り入れてみようと思ひました。

効果のあるものもあつたが……

その頃知り合いになったKさんとマニラに旅行をすることがありました。この時、偶然にS博士とマニラで会いました。この先生は東京の人で、昔、厚生省の自然食品の審査をするような役職をしていた方で、その後、某栄養大学の教授をされてから健康食品をつくる仕事をされていました。

「私のつくっているビタミンEは、有機肥料栽培の小麦からとったビタミンEですから、とても健康にいいのです。飲んでみませんか」

と言われますので、いいものは何でもやってみようと思っていましたから、飲み始めました。それが大変効果があつて、それから一〇年ほどずっといい状態が続きました。

九三年までいい状態が続き、この間ありとあらゆる健康食品を試してみました。この年の一〇月に甥が福岡で結婚式を挙げましたので、別府から福岡までタクシーを使って往復し式に出席しました。そうしたら非常に疲れてしまい、一週間飲まず食わずで寝込んでしまったのです。

寝てばかりではどうにもならないと思い、起きようと思いましたが全身の関節が痛くてどうにもなりません。七五年からずっと病んでいた手の指は、さらに痛みがひどくなり変形してしまいました。

そうこうしている時、ナマコのエキスが効くというので飲みましたら、これがよく効きました。やっと動けるようになりましたが、リウマチというのはいくら良いものを飲んで完治にはならないんです。よくても進行を抑えるというだけです。どんなにいい健康食品でも、慣れてくるとまた悪化するということを繰り返してきたように思います。

キャッツクロウを知る

昨年（九七年）の六月、キャッツクロウという健康補助食品が出たということを知人から聞いて、早速取り寄せてみました。このキャッツクロウを六月の十一日から飲み始めて一日四回、五錠ずつ飲みました。十七日の日に魚屋さんに魚を買いに行きました。

すると魚屋の奥さんが、

「ああら、I先生どうしてそんなに元気になったの？ 腰は伸びているし、足取りは軽いし、まあ本当に珍しいことだ。四、五日前に会った時はまだ体がヘナヘナして歩きよったのに。どうして？」

そう言うんです。

「あれ？ そいうえば私はここへ来る時に心臓はドキドキせんかったし、足も軽かったし、何か不思議やな」

自分でも今までの体と違うことに気づきました。

「そんなら、やっぱりキャッツクロウが効いたんだわ」

そう思って、その魚屋でキャッツクロウの話をたくさんしてやっただけです。そうしたら、「私も欲しい」「私も飲みたい」

そこに居合わせた奥さんたちがみんなそう言うんです。ですからその日のうちに、いくつか販売店から持ち帰って、翌日、キャッツクロウを例の魚屋に持って行って、みんなに分けてあげました。

そんな奥さんたちの中で、一人、木が腐ったような悪い顔色をして、道を歩いていても心臓がおかしくなって、よく道端にしゃがみ込んで痛みが治るの待つというような人がいたんです。それまでは貧血性だとは聞いていましたが、心臓が悪いとは知りませんでした。その人が真っ先に、

「私、今日はお金を持ってないけど、いい？」

「いいわよ、人助けのつもりだから。今度お金ができた時に返してくれば」

結局、魚屋さんが立て替えてくれて、奥さんはキャッツクロウを持って帰りました。

ところが一週間して、また魚屋さんでその奥さんと会ったんです。顔色は白くなって、頬っぺたはピンク色になっています。

「今日は、あんた厚化粧をして！」

と思わず言っしまいました。七〇歳の半ばの人ですから厚化粧でもありません。本当

に元気そうな顔色になっているんです。

「私、キャッツクロウのおかげで元気になって、ありがたいわあ」

と喜んでくれて、私は感謝感激されてしまいました。

魚屋さんの奥さん自身も、六月なのに靴下を三枚も履かなければ寝られないという冷え症だったそうですが、キャッツクロウを飲んでみたいというので分けてあげました。彼女の場合は一週間というわけにはいきませんでした。二か月くらい経ってから冷え症が改善されたという話でした。

結局、その魚屋さんで五人の人にキャッツクロウをすすめたことになりました。みんなが集まると口々に言うのは、

「キャッツクロウを飲んでいると風邪ひかないね」ということなんです。

命は金で買う時代

さて私のことですが、おかげで痛みは全然ありません。飲み始める頃は手や肘、膝の関節は動かすと痛くてたまらず、食事の時は箸を使えず、スプーンとフォークで手も肘も曲げないようになっています。

ところがキャッツクロウを飲んでからは、一週間目くらいから肘も膝もよくなり、外も

スタスタ歩くようになっていました。腰も全然痛くなくなりました。魚屋さんの奥さんに驚かれたのはこの頃です。残念ながら指の変形は元には戻りませんが、指は自由に動きます。

私の経験から、キャットクロウはリウマチの症状を好転させるという効果は完全にあると言えます。

最初にリウマチになった七五年当時、患者仲間が十二人いたんです。今生きているのは私ともう一人の女性で、後はみんな他界してしまいました。リウマチでお医者に掛かった人のほうが早く亡くなるような気がします。

痛いから先生は痛み止めを与えます。リウマチだと宣言されて四か月目に、今度は胃潰瘍になって手術をし、それから間もなく亡くなったというかわいそうなおばあさんもいました。リウマチだと診断されて、痛み止めと副腎皮質ホルモンをどんどん投薬されて、体がおかしくなってしまう人が多いんです。

だから私は絶対お医者さんの薬は飲まないという主義なんです、ただ今のところは……。現在は、命は金で買う時代だと思い、良いと思う健康食品はみな取り入れてやっております。

⑦胆嚢ポリープ、腎臓系疾患の辛い症状がすっきり解消 愛知県 A・Hさん（女性・四二歳）

胆嚢にポリープ、腎臓系にも疾患

三年ほど前に病院で胆嚢に三mmくらいのポリープがあることがわかりました。病院では血液検査、超音波等の検査をしましたが、一cm以上になりますとガンに進行する可能性が大きいので手術をしますが、それ以下ですと様子を見るということで処置もありません、一年に一回検査に行けばいいと言われました。

しかし、自分では体の調子が思わしくなく、時々、みぞおちの辺りが痛くなりますし、皮膚は黄色くなっているように感じました。そこで、近くの治療院に通い治療を受けてきたのです。この治療院では、腎臓系にも疾患があると言われましたが、確かに尿の出は悪いのと、夜、床に入って寝付きはいいのですが、一〜二時間すると必ず目が覚めてトイレに行きたくなります。

熟睡ができないので、疲れやすい体質になってしまい、辛い日々が続いていたわけです。私は事務系の仕事をしています。通勤は自転車で一五分くらいですが、毎日家に帰ると家

事をすぐにできないほど疲れて、横になるほどではありませんが一休みしないと動けない状態でした。

昨年（九七年）の十二月に、通っている治療院の先生がポリープや腎臓の疾患にいいのではないかとキャットクローを紹介してくれて飲み始めてみました。

まだ三か月に満たない飲用期間ですが、体のだるさがすっかりとれて、夜のトイレの回数も少しずつ改善されています。毎日、帰宅後の家事も今までのように気合いを入れないと動けなかったのが、体が自然に動くようになり疲労の回復が早くなったように思います。

特に感じるのが自分の顔つきです。どちらかというと暗く、元氣のない表情だったのが、明るく優しい顔つきに変化してきました。体の調子が顔の表情にも現れてくるのだということがよくわかったような気がします。

ポリープは、最初の発見時は3mm、一年目に6mmとなりましたが、二年目の検査で四、五mm、三年目で2mmくらいに縮小をしているようです。病院では前述したように1cm以上になるまでは特別な治療はしないということで、痛いときの痛み止めをくれる程度でした。でも本人は自覚症状もあり、辛いときがありました。従って通った治療院の処置が大変よかったためにポリープも縮小してきたのだと思っています。これと並行して飲用したキャットクローのおかげで、慢性的な疲れ、だるさ、むくみ等が取れたと思っています。

辛い思いをしましたので、健康食品をずいぶん試してみました。それぞれ、飲み始めはいいと思うこともありましたが、その状態が長くは続きませんでした。でもキャットクローの効果は、まだ飲用して三か月にならず確実なことは言えませんが、今までの健康食品とは少し違った、力強さのようなものを感じます。

次回の病院の検査で、胆嚢のポリープがどうなっているか、早く見てみたい気がします。が、いずれにしろ健康維持にもキャットクローを飲み続けていきたいと思っています。

⑧職業柄一〇年くらい悩まされた慢性的な辛い腰痛が治る 東京都 S・Tさん（男性・三九歳）

慢性的腰痛が遠のく

私の勤務している会社は運輸会社で、重いものを扱う作業なものですから、腰に負担のかかる仕事が多いのです。

職業柄、腰に持病があって、もう一〇年くらい腰の痛みに悩まされてきました。私の場合はギックリ腰ではなくて、ひねり腰のようなもので慢性的になっています。季節の変わり目になると必ず腰に痛みが出るという状態でした。

治療のようなことは特別していませんでしたが、炎症を起こすと一週間くらい寝込んでしまうということが二年に一度くらいはありました。それも急に痛みが腰に走って寝込んでしまうという具合で、前もっての予防ということもできません。仕事をしていても、常に腰の不安が心のどこかにあったわけです。

たまたま一月ほど前、以前勤めていた会社の同僚と飲む機会があつて、「また腰が痛いんだ」と話すと、

「それなら、いい健康食品がある」

と紹介されたのがキャッツクロウでした。彼は現在、健康食品関係の会社に勤めていることから、そうした情報を持っていたわけです。

早速キャッツクロウを手に入れて、一日六錠、朝・昼・晩二錠ずつ飲み始めました。五日目くらいになって、

「おや、これって効いているのかな」

という感じが、ハッキリと伝わってきました。

私の場合は、痛みが遠くに離れていくような感じがしたのです。いつもの痛みが腰にきているのはよく分かるのですが、それが直接ではなく遠くに感じます。このため、今までのように寝込むということはなく、体を自由に動かすことができました。よく痛みを我慢

して動く腰が曲がった状態になるのですが、それが全くありません。

キャッツクロウが半麻酔のように痛みを抑えてくれているように思えます。今まではこうではなく直接痛みが腰に走りますから、どうしても無理に腰をかばうようになり余計具合が悪くなっていました。

最近ヘルニア等で手術をするな、というようなことが言われています。確かにそうかもしれないませんが、かといって痛いということは本人にとって我慢のできないことです。そういう場合には、このキャッツクロウというのは非常にいいものではないかと思えます。薬ではありませんから副作用もありません。よく鎮痛剤の薬を飲むと胃が悪くなるとか、肝臓が悪くなる等という副作用が出ますが、私の場合はキャッツクロウで痛みを抑えても安心して車の運転をすることができます。

仕事でよく車を使いますから、服用して胃が痛くなる薬ですと、どうしても使用できないという難点があったものですから、キャッツクロウを知り大変助かっています。

⑨十二年越しの、背中から足にかけてずっと続いていた針を指すような
肋間神経痛が消えた
静岡県 O・Hさん（女性・七四歳）

肋間神経痛が治る

今から十二年前、病気になるに本当に死ぬような思いをしました。どこが悪いかわからず、ただ全身の痛みとつるような感じが襲い、食欲もなく、体が衰弱してしまいました。

地元の先生にかかって診てもらったところ、肋間神経痛だといわれ、薬は痛み止めだけしかいただけませんでした。

こうして、だいぶ長い間苦しみましたが、少し加減が良くなった頃、現在の治療院に通うようになりました。その後一〇年間、治療院の先生のすすめる健康食品を飲んで元気になってきましたが、背中の痛いのはどうしても取れずいました。

今年一月（九八年）の始めに、先生からこれはいぞとすすめられたのがキャットクロウです。朝と晩に三錠ずつ飲みましたら、一か月ほどして背中から足にかけて、長い間つづいていた針を刺すような痛みが、ずっと薄らいできたのです。

お勝手仕事にしても、何かの拍子にキュツとした痛みがあったのですが、これもなくな

っています。

大病をした頃は、お金で命を買えないと思いましたが、体が大事だと思って飲む健康食品は命のようなものです。体にいいと信じて飲めば、きっと良い結果が出てくるのです。キャットクロウを紹介していただいて本当によかったと思っています。

⑩足の指、腰痛、膝関節痛が一月足らずでほとんど解消
埼玉県 M・Yさん（女性・五六歳）

朝一回、三錠のキャットクロウで痛みがなくなった

私は自転車に乗って保険の集金の仕事をしています。職業柄、足、腰等さまざまなところが痛くて困っていました。

今年（九八年）になって、足の指先がとても痛く、靴が合わないためなのかと思って靴を変えてみますが痛みが止まりません。痛風かなと思いましたが、本屋で見つけた血流障害の本で紹介されていたSOD様エキスを取り寄せてみました。この時、販売店から教えてもらったのがキャットクロウで、早速一月の末頃からキャットクロウを飲み始めました。

一日、朝一回三錠飲むようにしましたが、しばらくすると足の指の痛さがスツキリとなくなりました。

自転車を毎日乗り回していると、職業病のように腰が痛くなるようで、私も前屈みができないほどの腰痛もちでした。腰痛がひどくなると膝の関節痛も出て、腰から下はどれも痛みがある暮らしでしたが、これもキャットクローを始めて一月足らずで、ほとんど解消。自然に腰も膝も曲がるようになって大助かりです。

主人は胃潰瘍の気味があつて、そのせいか背中や肩の痛みがよく出ます。そこでキャットクローを同じように飲ませています。最近、痛いということを言わなくなったのは、このキャットクローのおかげだと思っています。

⑪現代医学が治せなくても、私と子供が主人を治します 愛知県 E・Sさん（女性・三八歳）

主人が悪性のガンを宣告される

昨年（九七年）七月に、主人は左肩が痛いといつて検査を受けました。症状は治らず今年の一月末に検査のため入院した結果、ガンということが判明しました。病院の説明では

悪性の進行ガンであるということです。最初に見つかったのは肺の中に二か所ですが、その後胃にもガンが見つかりました。

胃ガンが見つかるまでは抗ガン剤を使うといつてましたが、胃ガンが見つかったためにそれまでできなくなり、放射線治療ということになりました。左肩の痛みがきついものから、モルヒネも併用していますが、病院からはもうこれ以上の治療は、やりようがないと言われてしまいました。

この病気は非常にまれなもので、あまりにも運が悪くてかかった病気だと先生は言います。そして一年は生きられるかな、それが一か月なのか、二か月なのか先生も返答はできないと言っています。ですからいつその日が来てもおかしくはない、ということなのでしょう。

先生がそう言う以上、主人は死を待つほかはありません。しかし、何もせずに主人の死を迎えるのは、私にとって我慢のできないことでした。検査入院をしてからわずか二十日前後でこの結論を聞かされた私は、何が何だかわからない状態です。そこで不意に思ったのが、プロポリスとキャットクローのことでした。以前、私は内臓が弱かったために知人にすすめられて飲んだことがあります。私はあまり真面目にキチンと飲んではいませんでした。すぐにパンフレットを引っ張りだし、そこに書いてある説明をもう一度よく読んですぐに注文しました。これを飲まなくてはいけないと思っただけです。何かに頼りたい、

大丈夫治るから、という言葉が欲しくて、係の人から体験事例の話を聞いたりもしました。これはガンを治すための薬ではないということを聞いていましたから、だったらできるかぎり主人の免疫力を高めるよう、トコトンやってやろうと思って頼みました。

まだ主人が飲み始めて一か月足らずです。効果はよく分かりません。ただ放射線治療をする和一週間ごとにレントゲンを撮って検査をするのですが、先週の検査では「ガンの動きが入院の頃と変わらない」と先生に言われました。変わらないということは、良くはなっていないかもしれないが、悪くもなっていないということです。

当初、先生は進行性のガンであるから、どんどん悪化するだろうとおっしゃっていました。辺り構わずガンが暴れ回るとおっしゃっていたのに放射線のおかげか、プロポリスやキャツツクロウのおかげか、悪くはなっていないのかなあという気持ちでいます。

神様がいるなら不公平なことはないE

主人と私は二年ほど前に商売を始めて、これから頑張ろうという矢先のことでしたし、まだ小さい子を抱えて、先が全く見えない状態で、三、四日前までは正直言って半狂乱のような生活でした。

しかし三、四日前、自分がすっかりしないと、告知されて死と向かい合っている主人の気持ちはどうなるのか、という忠告を知人からいただきその通りだと思いました。そこで

自分を信じて、先生が治しきらなければ私がこの健康食品で治してやろう、と心の底から思うようになりました。不思議なことに、そう思ったら涙も出なくなりました。

病院の先生も看護婦さんも皆さんは主人はもう治らないと考えていらつしやいます。でも、私と子供達は主人が治ると信じています。長男は小学校六年生ですが、

「お母さん、もし神様がいるなら不公平なことはない。神様がいてその健康食品があれば、お父さんは絶対に死なないよ」と言ってくれました。

結果はもちろん分かりませんが、誰も信じなくても、家族は主人が絶対に治って帰ってくる、そう信じています。

⑫ 全身に発疹、人前に出るのも恥ずかしい症状がキャツツクロウの服用で治まる。体のたるさもスツキリ、朝の寝覚めも快適

東京都 S・Fさん（女性・四四歳）

突然奇病に冒される

今から二年ほど前の九六年十二月のことでした。微熱が出て、体がだるいような日が続いたのです。ちょうど冬でしたし風邪も流行っている頃でしたので、私も風邪をひいてし

まったかなと思って風邪薬を飲んで様子を見ていました。

ところが一か月ほどすると、上半身にポツ、ポツと赤い発疹がでてきました。それでもすぐに治るだろうと思いい二週間ほどほったらかしにしていたのですが、そのうち背中から上半身にかけて発疹がずっと広がってきました。顔も正面は少しも出ないのですが、髪の毛生え際には点々と赤い発疹がでてきました。お腹の回りにもびっしりです。

さすがに近所の皮膚科で見てもらったところ、ストレスによる尋常性乾癬という診断を受けました。この尋常性乾癬というのは、西欧等で最近多く見られるようになった病気で、日本ではまだ患者さんも少ない珍しい病気だということでした。原因は免疫性のものでなく、私の場合はストレスが原因で免疫系に何か異常が起こり、発疹が出たものと思われます。アトピーと同様に免疫系の発疹は難治性だと聞きました。

近所のお医者さんでは、塗り薬を主体に治療を受けました。ステロイド軟膏も最初から使っています。半年ほどこの皮膚科に通いましたが、一向に治まる気配がなく、かえって発疹はひどくなるばかりです。この頃になると発疹は全身に現れ、手の甲も赤い斑点が出てきました。人前に出るのも恥ずかしいようになりました。

半年ほどしても病状がよくならないため、病院を替えましたが、そこでは私の症状を診ると、すぐに大病院に行くことをすすめました。そこで、国立病院に行きますと、やはり尋常性乾癬に間違いはなく、しかも病状がかなりひどくなっているために、すぐに入院せ

よとのこと。しかし、私は勤めのある身で入院はできず、週二、三回の通院でなんとか治療をしていただくことになりました。

大病院でもはかばかしくない発疹がキャッツクロウで消えた

国立病院ではかなり強い薬を飲むことになり、先生は私にその薬を使うための承諾書を書かせた程でした。胎児がいる場合は悪影響が出るくらい強い薬だということでした。とくにひどい副作用が出たということはありませんでしたが、その薬を服用すると、唇が乾いて皮がバリバリになるような気がしました。

私は今まで、たまに風邪をひくほかは病気になることがなく、健康食品にも全く興味がありませんでしたが、今回は本当に困ってしまい、いろいろなものを試してみました。その他鉱泉治療等もやってみました。しかし、強い薬も、健康食品も、そして鉱泉治療もはかばかしい効果はなく、症状はいいほうに向かうことはありませんでした。

発病して一年ほど経った九七年の一〇月頃、友人が免疫力を高めるのに効果があるから試してごらんと行って教えてくれたのがキャッツクロウでした。この頃はいいといわれる健康食品をあれこれ試していた時で、キャッツクロウもそうした健康食品の一つとして、特別期待を込めていたわけではなかったのです。発疹は相変わらず全身に出ていて、家族も気味悪がって、

「先にお風呂に入るな」

等という程になっていたのです。

とにかく、免疫力を高めるといふ効能に賭けてみようと思い、早速一日六粒ずつ二回に分けて飲んでみたのです。

一か月ほどして、あれだけひどかった発疹が少しずつ消えていくようになりました。私の場合には痒みが強かったのですが、それもなくなってきたのです。

「ああ、効いてきたな」

という実感を得ることができ、それから発疹がウソのようにひいていき、年が明ける頃には、ほとんど人目には目立たないほどになってしまったのです。現在では、腕のあたりにポチポチとある程度で、温泉に行っても人目を気にせず湯船に入れるようになりました。心配していたステロイドも、ひどい時には痒みが治まらず一日一回は使わずにいられますでしたが、今では一週間に一度くらい部分的に塗る程度まで控えることができるようになりました。

さらに、発疹が出るようになってからいつも感じていた体のだるさが、キャッツクロウの服用でなくなりました。朝の目覚めが本当にさわやかで、疲れがスッキリと取れて活力が体内に漲ってくるようです。キャッツクロウは本当に私の体に合っているのだということを実感しています。